

## トップメッセージ



心豊かな未来の実現に向けて、  
サステナビリティの取り組みを  
推進していきます。

代表取締役社長 グループCEO

高島 悟

当社グループは、サステナビリティビジョン「TSV2050/2030」をサステナビリティ活動の中長期的な目標と位置づけ、中期経営計画「SIC-II」の3つの柱の一つである非財務目標「持続的成長に向けた経営資源の価値向上」の達成に向けて、サステナビリティ経営を推進しています。

「持続的成長に向けた経営資源の価値向上」は、私たちがよりサステナブルな企業グループとなるために不可欠な体質変革であり、「働き方・人事制度改革」「DXの推進」「ガバナンス体制の変革」「環境経営の推進」の4つをテーマとしています。2022年度は、それまでのCSR統括委員会を「サステナビリティ委員会」に改称・改組し、全社サステナビリティ活動を推進するとともに、グループの各社各部門と緊密に連携して個別のサステナビリティ活動を支援する体制を整備しました。この新体制のもと、従来不十分であったとして抽出した2つのサステナビリティ課題、人権対応とCSR調達推進に注力して取り組みました。

具体的には、人権課題に関するグローバルな潮流をふまえた「人権方針」の制定、「調達基本方針」と「調達先選定基準」の抜本的な改定、「サステナブルサプライチェーンガイドライン」を策定、開示を実施しました。主要な国内サプライヤー向けに行ったCSR調達調査では、およそ8割のサプライヤー様に当社グループの方針やガイド

ラインに同意・同調を示していただいております。

「環境経営の推進」においては、カーボンニュートラルの実現に向けて社会のCO<sub>2</sub>排出削減に貢献すべく、リチウムイオン電池用材料の生産能力増強や、原材料のバイオマス化など環境価値製品の開発に積極投資しています。

当社グループは経営哲学に「人間尊重の経営」を掲げており、人的資本強化は取り組むべき最優先課題の一つであると認識しています。ダイバーシティ&インクルージョン(D&I)の推進や、働きがいのある職場環境の醸成、DXに対応できる人材の育成も進めています。2023年1月には、グループ人事部の中にD&I推進室を新設しました。新たな体制で取り組みを加速させ、多様な価値観を尊重し、あらゆる属性の社員が活躍する組織を目指します。

2024年1月、当社は社名を改め「artience株式会社」としてスタートします。今般の社名変更は、社会環境が目まぐるしく変化する中で、当社グループが新たな時代に貢献し、さらなる成長を遂げ、「世界の人びとに先端の技術で先駆の価値を届ける会社」と名実ともに変革するという強い決意を、社内外のすべてのステークホルダーの方々に表明するものです。企業と社会の持続的成長を目指す当社グループの大きな変革にどうかご期待ください。